



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日 東

上場会社名 三井金属鉱業株式会社 上場取引所  
 コード番号 5706 URL <http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仙田 貞雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 境 克也 (TEL) 03-5437-8028  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	338,432	△2.0	7,544	△67.3	△11,829	—	△16,308	—
27年3月期第3四半期	345,351	7.0	23,037	31.2	23,696	29.9	17,098	46.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期△16,898百万円(—%) 27年3月期第3四半期 27,173百万円(32.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△28.56	—
27年3月期第3四半期	29.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	496,449	186,329	35.5	308.78
27年3月期	538,646	207,106	36.6	344.91

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 176,348百万円 27年3月期 196,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	442,000	△6.6	13,500	△57.6	△10,500	—	△18,500	—	△32.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	572,966,166株	27年3月期	572,966,166株
28年3月期3Q	1,853,620株	27年3月期	1,842,579株
28年3月期3Q	571,116,407株	27年3月期3Q	571,128,479株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、円安や株高を背景に企業業績や雇用情勢の改善が継続する一方で、輸出の伸び悩みや個人消費が力強さを欠く等により、景気の回復は足踏み状態となっております。また、中国の景気減速や資源価格の下落に伴う新興国経済の低迷等、世界経済の下振れリスクが懸念され、先行きについては不透明な状況が続いております。

こうした経済環境の中、当社グループの売上高は、北米市場において自動車用機能部品の需要が堅調に推移しましたが、その他のセグメントが総じて減収となったことから、前年同期比69億円(2.0%)減少の3,384億円となりました。

損益面では、円安効果による好転要因があったものの、非鉄金属価格の下落に伴うたな卸資産の在庫影響(以下「在庫要因」)等により、営業利益は前年同期比154億円(67.3%)減少の75億円となり、経常損益は、チリのカセロネス銅鉱山の減損損失を含む持分法による投資損失194億円等を計上した結果、前年同期比355億円減少し118億円の損失となりました。

また、特別損益および税金費用、並びに非支配株主に帰属する四半期純利益を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損益は前年同期比334億円減少の163億円の損失となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①機能材料

液晶パネル向け薄膜材料や排ガス浄化触媒の需要は前年同期並みに推移しましたが、電池材料や電解銅箔は主要顧客の生産調整等により需要が低迷したことから、当セグメントの売上高は前年同期比68億円(5.9%)減少の1,087億円となりました。加えて、インジウム価格の下落に伴う薄膜材料の在庫要因やマレーシアリングット安の影響に伴う一過性の損失等の影響により、経常損益は93億円(85.4%)減少の16億円となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

電解銅箔(当第3四半期連結累計期間の生産量21千t)

#### ②金属

国内の亜鉛価格が下落したこと等により、当セグメントの売上高は前年同期比6億円(0.7%)減少の985億円となりました。経常利益は、円安効果による好転要因があったものの、非鉄金属価格の下落に伴う在庫要因等の影響があったことから74億円(92.1%)減少の6億円となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

亜鉛(当第3四半期連結累計期間の生産量152千t<共同製錬については当社シェア分>)

鉛(当第3四半期連結累計期間の生産量48千t)

#### ③自動車機器

ドアロック等の自動車用機能部品の需要は、米国経済の回復基調を背景に北米市場において堅調に推移しました。当セグメントの売上高は前年同期比58億円(7.5%)増加の829億円、経常利益は、前年同期並みの32億円となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

自動車用機能部品(当第3四半期連結累計期間の生産金額731億円)

#### ④関連

エンジニアリング事業の完成工事高が減少したこと等により、当セグメントの売上高は前年同期比89億円(10.2%)減少の792億円となり、経常利益は5億円(21.2%)減少の22億円となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の業績予想につきましては、当第3四半期累計実績および第4四半期の事業環境や為替・非鉄金属価格等の変動要因を勘案の上、以下の通り見直しております。

(金額：百万円)

		今回予想 (A)	前回予想 (B)	増減金額 (A)-(B)	増減率 (%)
売上高	機能材料	141,900	146,400	△4,500	△3.1
	金属	121,700	139,300	△17,600	△12.6
	自動車機器	113,500	112,400	1,100	1.0
	関連	108,100	115,700	△7,600	△6.6
	消去又は全社	△43,200	△43,800	600	—
	合計	442,000	470,000	△28,000	△6.0
営業利益		13,500	21,000	△7,500	△35.7
経常利益	機能材料	2,500	3,700	△1,200	△32.4
	金属	△1,700	5,200	△6,900	—
	自動車機器	5,600	5,900	△300	△5.1
	関連	3,300	4,100	△800	△19.5
	消去又は全社	△20,200	△900	△19,300	—
	合計	△10,500	18,000	△28,500	—
親会社株主に帰属する当期純利益		△18,500	8,000	△26,500	—

	4～12月 実績	1～3月 見込	今回予想	(参考) 前回予想
為替(円/US\$)	122	120	121	121
亜鉛LME(\$/t)	1,883	1,600	1,812	1,960
鉛LME(\$/t)	1,780	1,700	1,760	1,815
銅LME(¢/lb)	245	200	234	243
インジウム(\$/kg)	386	270	357	367

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ①税金費用の計算

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から

非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,404	13,995
受取手形及び売掛金	92,359	76,508
商品及び製品	27,035	26,398
仕掛品	30,754	27,513
原材料及び貯蔵品	34,683	35,416
繰延税金資産	5,451	4,321
その他	14,627	17,958
貸倒引当金	△162	△118
流動資産合計	221,153	201,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	162,995	165,922
減価償却累計額	△108,825	△111,290
建物及び構築物(純額)	54,170	54,631
機械装置及び運搬具	329,644	331,824
減価償却累計額	△274,499	△278,621
機械装置及び運搬具(純額)	55,145	53,203
鉱業用地	512	507
減価償却累計額	△236	△234
鉱業用地(純額)	275	272
土地	33,744	33,598
建設仮勘定	9,383	8,247
その他	56,198	57,117
減価償却累計額	△44,858	△46,229
その他(純額)	11,339	10,888
有形固定資産合計	164,058	160,842
無形固定資産	4,467	3,803
投資その他の資産		
投資有価証券	136,679	117,564
長期貸付金	550	538
繰延税金資産	2,268	2,231
退職給付に係る資産	4,071	4,832
その他	5,814	4,993
貸倒引当金	△416	△349
投資その他の資産合計	148,967	129,810
固定資産合計	317,492	294,456
資産合計	538,646	496,449

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,382	38,094
短期借入金	57,896	46,511
コマーシャル・ペーパー	4,000	6,500
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	3,322	1,909
繰延税金負債	24	0
引当金	6,560	4,151
その他	28,445	28,033
流動負債合計	155,631	135,199
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	88,494	87,987
繰延税金負債	5,917	5,684
引当金	2,450	2,750
退職給付に係る負債	23,234	23,286
資産除去債務	3,018	2,776
その他	2,793	2,435
固定負債合計	175,907	174,921
負債合計	331,539	310,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,129	42,129
資本剰余金	22,557	22,557
利益剰余金	106,908	87,004
自己株式	△601	△605
株主資本合計	170,994	151,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,613	2,336
繰延ヘッジ損益	△1,032	2,199
為替換算調整勘定	24,719	20,960
退職給付に係る調整累計額	△308	△234
その他の包括利益累計額合計	25,992	25,262
非支配株主持分	10,120	9,980
純資産合計	207,106	186,329
負債純資産合計	538,646	496,449

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	345,351	338,432
売上原価	288,225	295,875
売上総利益	57,125	42,557
販売費及び一般管理費	34,088	35,013
営業利益	23,037	7,544
営業外収益		
受取利息	170	185
受取配当金	1,092	1,385
持分法による投資利益	938	—
不動産賃貸料	660	529
その他	610	949
営業外収益合計	3,472	3,050
営業外費用		
支払利息	1,576	1,332
為替差損	91	661
持分法による投資損失	—	19,422
その他	1,145	1,008
営業外費用合計	2,813	22,424
経常利益又は経常損失(△)	23,696	△11,829
特別利益		
固定資産売却益	234	58
投資有価証券売却益	8	1,476
その他	489	1,131
特別利益合計	731	2,666
特別損失		
固定資産売却損	20	77
固定資産除却損	689	778
環境対策費用	42	590
その他	923	583
特別損失合計	1,676	2,030
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	22,752	△11,193
法人税、住民税及び事業税	5,081	4,828
法人税等調整額	0	△114
法人税等合計	5,081	4,714
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,670	△15,908
非支配株主に帰属する四半期純利益	571	399
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	17,098	△16,308

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,670	△15,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	736	△273
繰延ヘッジ損益	△2,322	2,984
為替換算調整勘定	4,521	△4,157
退職給付に係る調整額	86	55
持分法適用会社に対する持分相当額	6,480	401
その他の包括利益合計	9,503	△990
四半期包括利益	27,173	△16,898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,464	△17,038
非支配株主に係る四半期包括利益	708	139

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属	自動車 機器	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	110,996	87,179	77,127	66,721	342,026	3,325	345,351
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,523	12,038	10	21,510	38,083	△38,083	—
計	115,520	99,218	77,137	88,232	380,109	△34,757	345,351
セグメント利益	10,978	8,116	3,286	2,798	25,179	△1,482	23,696

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額(予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差)であります。セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,109百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属	自動車 機器	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	104,439	90,100	82,955	60,093	337,588	844	338,432
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,280	8,470	—	19,172	31,923	△31,923	—
計	108,720	98,570	82,955	79,265	369,512	△31,079	338,432
セグメント利益 又は損失(△)	1,604	638	3,267	2,204	7,714	△19,544	△11,829

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額(予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差)であります。セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△820百万円、持分法適用会社の子会社における銅鉱床開発プロジェクトに係る減損損失△19,278百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。